

# 加持祈祷の炎、大日如来の御前に燃ゆる



なごやの火祭り千燈供養会が10月17日(金)~19日(日)の三日間にわたり大日堂で厳修されました。八事山興正寺の最大行事に多くの参拝者が訪れ、柴燈大護摩から立ち上る高さ三メートル以上の炎に見入りました。

先日、ある靈場寺院に助法で出仕したこと、若い二人組の参拝客から境内パンフレットを片手に道を聞かれた。  
「このお堂へ行きたいんですが、どう行けば良いですか?」  
一緒に少し後戻りして見通しのよい場所まで案内し「この道をまっすぐ百メートルほど歩けば別の道に突き当たる。そこを左折し、またすぐに右折すれば行けますよ」と教えてあげた。  
すると、それまでスマートフォンを操作していた別の人が付近の地図を描いた画面を見せて「つまりこの青い線に沿って行くということですね」という。

驚いてしまった。たった今、一緒に見通しのよい場所まで同行し、指で目標地点を示して、一番行きやすい道を教えてあげたのに、一体、何を聞いていたのだろう

先日、ある靈場寺院に助法で出仕したこと、若い二人組の参拝客から境内パンフレットを片手に道を聞かれた。  
「このお堂へ行きたいんですが、どう行けば良いですか?」  
一緒に少し後戻りして見通しのよい場所まで案内し「この道をまっすぐ百メートルほど歩けば別の道に突き当たる。そこを左折し、またすぐに右折すれば行けますよ」と教えてあげた。  
すると、それまでスマートフォンを操作していた別の人が付近の地図を描いた画面を見せて「つまりこの青い線に沿って行くということですね」という。

便利さと引き換えに、私たちは大事なものを失つてしまつたのではないか。人と人とのつながりよりも、電子機器による無味無臭のつながりを優先する。時代は二つの転換期を迎えて

う。目の前にいる人間の言葉ではなく、スマートフォンで見つけた地図に頼ろうとする姿に、次の言葉が出なかつた。  
「そうか、これがフェイスブックやツイッター、ライン、メールは使いこなせても、生身の人間との対話は苦手な者たちの現実かもしれない。そういうえば先日、面と向かっては到底話せないような乱暴な言葉をラインを使ってやりとりしたあげく、相手を殺害してしまつた少年少女の事件もあつたばかりだ。

(森田)

# 八事山文庫

2014年11月号

発行所

真言宗  
八事山興正寺

<http://www.koushoji.or.jp>  
TEL052-832-2801  
FAX052-832-8383

2611号  
毎月末日発行

## 杜のコラム

### 今月の特集

- ☆ 寺通「知多四国八十八ヶ所」.....2ページ
- ☆ 紅葉まつりのお知らせ.....4ページ
- ☆ 緑日さんぼ「毎月15日・奥之院・阿弥陀如来」：14ページ

興正寺 紅葉まつり 11月29日(土)・30日(日)

千燈供養会が終わり、ますます寒さが厳しくなる今日この頃、みなさまどうお過ごしでしょうか？前回は『御朱印・納経帳』について勉強し、「大日如來」と「西方佛」は知多四国八十八ヶ所靈場の御朱印でもあるとご紹介しました。そこで今月は知多四国靈場にまつわる話をさせていただきたいと思います。まずは、お大師さんの名で親しまれる「弘法大師空海」についてお話をさせていただきましょう。

真言宗の根本である密教を日本に伝え広めたのが弘法大師空海といわれています。讃岐国（現在の香川県）に生まれ、幼少のころは「真魚」と名付けられてとても大切に育てられました。周りの子とは少し雰囲気が違い、粘土を使い仏像を作つては、草や竹を使って庵に安置することをよくさせていたそうです。そして七歳の時、真魚さまは「捨身岳」の頂で「仏法が私の進む道ならば助けたまえ」と願を立て、その身を投げましたが、すぐさま天から飛天（天女）が降りてきて真魚さまの体を受け止めたそうです。こんなにも仏に愛された真魚さまはその後、仏道修行に励まれ、二十代半ばで密教を知るきっかけとなる「大日經」に出会います。しかし当時の日本には密教に精通する者がおらずお大師さまは唐に渡る決心をされます。



「西浦や東浦あり 日間賀島篠島かけて  
四国なるらん」

千燈供養会が終わり、ますます寒さが厳しくなる今日この頃、みなさまどうお過ごしでしょうか？前回は『御朱印・納経帳』について勉強し、「大日如來」と「西方佛」は知多四国八十八ヶ所靈場の御朱印でもあるとご紹介しました。そこで今月は知多四国靈場にまつわる話をさせていただきたいと思ひます。まずは、お大師さ

### 弘法大師 空海と 知多四国八十八ヶ所靈場

高野 正清



大師さまの深い結びつきを感じますね。日本に戻られたお大師さまは、日本全国をまわられてたくさんのお話を残しました。それと共に多くの伝説が伝えられ、今日の深い大師信仰へと繋がっています。さて、東国巡錆されていてお大師さま。知多半島に上陸し、知多の風景があまりにも四国に似ていることに大変驚かれたと伝わっています。その際に詠まれたという歌がこちら。

その後一八〇九年（文化六年）に、妙楽寺住職亮山阿闍梨が弘法大師の夢のお告げによって発願なされ、三度四国に巡拝を重ね、岡戸半蔵と武田安兵衛の協力を得て、知多四国八十八ヶ所靈場を開創されましたといわれております。この八十八ヶ所靈場をまわる方たちを「お遍路さん」と呼びます。次回このお遍路さんについてお話ししたいともいいます。



### ツウの細道

靈場巡りは、古くはインドにおいてお釈迦さま入滅後、弟子たちがお釈迦さまを偲び、自らの修行のために、お釈迦さまに縁のある八大聖地（靈場）を巡ったのが發祥です。日本各地にも数多く巡礼靈場があります。觀音信仰が盛んになつた平安中期以降、修行者が觀音靈場を巡るようになり、江戸時代になるとそれが一般庶民のあいだにも広がつていきました。

おみやげに  
いこしみやあ

season2

能  
満  
堂



### 「智慧が授かるこくぞうさま」

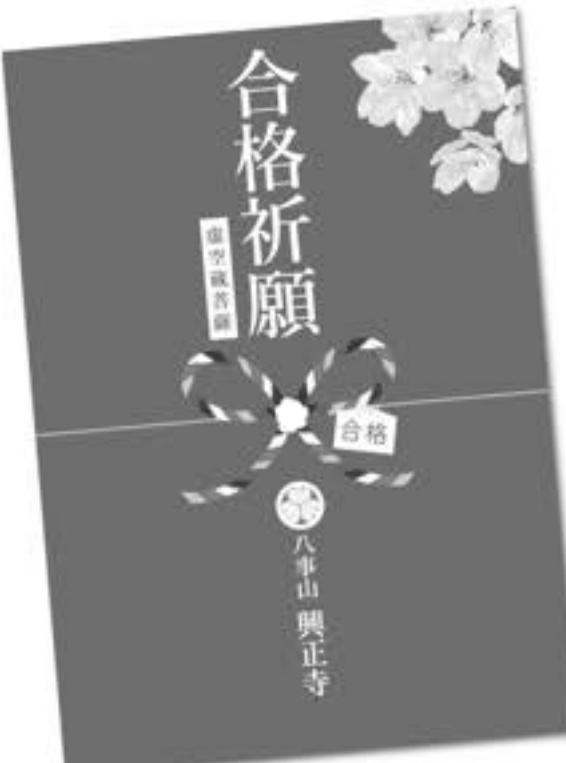
秘仏虚空蔵菩薩立像を本尊に置く能満堂は、東山と西山の境に位置し、毎年三月の秘仏御開帳の際には多くの方にお参りいただいています。小さなお堂ですが、興正寺が尾張徳川家の「祈願所」と呼ばれる由縁は、この能満堂にあるつてご存知でしたか？

能満堂

「虚空蔵菩薩」合格祈願会

11月9日(日)・23日(日)  
12月14日(日)・28日(日)  
午後2時より能満堂にて  
祈祷料五、〇〇〇円

\*納経所にて受付  
※右記日程以外も承ります。お問い合わせください。



尾張徳川家の祈願所として建立された興正寺の能満堂。ご本尊虚空蔵菩薩さまの元には多くの参拝者が訪れます。虚空蔵菩薩は智慧や知識、記憶のご利益をもたらす「智慧守り」として古くから篤く信仰されてきました。興正寺の合格祈願はこの虚空蔵菩薩へ祈願いたします。

能満堂は享保二年（一七一七）六月に尾張徳川家六代藩主・継友公の発願により藩主が祈禱するためのお堂として建立されました。翌年には、能満堂の入仏供養に併せて継友公の身体安全宝寿延長を祈願、その後も継友公の無難無災削除を祈願する法会が行われるなど多くの祈願がされたのです。

名古屋の「智慧守り」として古くから信仰されている虚空蔵菩薩さま。「智慧を授けるこくぞうさま」が一番智慧を授けたいのは、実は子どもたちです。学びを、水を吸うように吸収するやわらかな頭を持つ子どもたち。そんな子どもたちに虚空蔵菩薩さまは知識だけではなく、生きるために智慧を授けてくださるのです。

ご予約はお早めに

## 七五三 身体健全祈禱会

平成26年11月1日(土)・2日(日)・8日(土)・

9日(日)・15日(土)・16日(日)

各日五座・10時30分／11時30分／13時／14時／15時

※法会のため9日のみ10時30分・14時の座はございません。  
※いずれも要予約。お申し込み時に日時をご指定ください。

\*対象(平成26年度)

平成20年生まれ(七歳)・平成22年生まれ(五歳)、  
平成24年生まれ(三歳)満年齢でも受付いたします。

\*祈祷料: 五、〇〇〇円(特別御幣・御守・お菓子付)

お子さまの成長儀礼は数多くありますが、七五三は現在でも盛んなもののひとつです。男女児ともに数え三歳を境に髪を伸ばし始める「髪置き」。初めて袴を着ける五歳男児の「袴着」。それまで付け紐で合わせていた着物に初めて帯を締める七歳女児の「紐解き」。これらのお祝い日が一緒になつて七五三と呼ばれるようになつたと言われています。

### 境内写真撮影について

境内写真撮影は自由です。八事の杜の美しい自然をお楽しみください。  
※他参拝者の迷惑とならないよう、お願い申し上げます。  
※法事・行事のためお入りいただけない場所がございます。  
※写真屋さんにロケ撮影を依頼している場合は、予約時にその旨お伝えください。



地域をつなぐ人力車をはじめ、大人から子どもまで愉しめるワークショップ・屋台など盛りだくさんのイベントを行います。紅葉の美しい季節、昼夜で見事に表情を変える八事の山の自然を楽しみに、ご家族皆さまでぜひお越しください。

# 八事山興正寺の紅葉まつり

11月29日(土)・30日(日)

午前10時～午後4時



## 杜のステージ

野外ステージで音楽演奏や紙芝居！知っているあの子も出演するかも？



お坊さんと将棋&オセロ！勝てるかな？お坊さんと将棋&オセロで対決しよう！



## ワークショップ

様々な体験ができるワークショップが並びます。家族でお友だちで、どうぞ。



屋台&秋の興正寺マルシェ  
きれいな秋空の下で食べ歩き。美味しいものを食べてみんなでにっこり。

落ち葉プール  
ふわふわの落ち葉の中で泳ごう！

## 「八事の杜の響」

興正寺のお坊さんが大仏さまの前で仏教の音楽・声明を披露します。

※写真是昨年度の様子です

## 興正寺ツアーワーク「秘境巡り」

まだまだあなたの知らない興正寺がある！  
とっておきのポイントをご案内。



今さら聞けないシリーズ法話



お稚児さん体験

11月、紅葉の季節をを迎えます。先月の千燈供養会で行わされましたお稚児さんを体験というかたちでイオンで行つた【お稚児さん体験】は多くの方のご参加いただきました。今日は、法話・写経・座禅はもちろん、ワークショップ『水引細工』を行います。

お気軽にお越しくださいませ。

私たち人は、おおいなる存在のまなざしのなかに生かされているのです。

まるく重く  
季節は熟れ　やがて落ちる  
時をこえて  
それをみつめる眼のなかに

「秋」という漢字を辞書で引くと、「一いねのみのり2あき3としつき」といった意味が記されています。つまりは、一年のうちの大きな節目。古人は、おそらくは収穫の喜びをもつて、一年という時の移り変わりを実感なさったことです。

**第2弾**  
**お地蔵さまぬりえ**

手をつないで「なかよし地蔵ぬりえ」始めました。どんなお地蔵さんが描けるかな。無料で行えます。



なかよし地蔵ぬりえ



重輕地蔵



正觀音菩薩立像

やすらぎ庵にて  
お祀りしております。

どなたでもお参りいただけます。毎日10時より般若心経をお唱えします。(僧侶不在時は職員が行います)ぜひ、皆さまもお勤めにいらしゃってください。

## やすらぎ庵通心 コラム みのる

そして今  
まろく重たく 時が実る  
ゆれている つぶらなものよ  
穂につなり 枝をしなわせ  
房と垂れ  
かがやく紅の 金の 紫の  
囚われた日々よ

# やすらぎ庵通心

## 《行事ご案内》~どなたでもご参加いただけます~

### ■法話 今さら聞けない仏事シリーズ 第四回“お墓とは”

お墓とは何か…お墓の歴史や現在のお墓事情など僧侶がお答えします。

●11月10日(月)午前10時より

### ◆リラックス座禅講座

毎月30日は座禅の日。リラックス座禅とは呼吸と姿勢を整え、瞑想を行い心身をリラックスさせる僧侶オリジナルの座禅です。忙しい皆様に心を落ち着かせる術を僧侶が伝授いたします。(イス席でも行えます)

●11月30日(日)午前10時より

### ◆やすらぎ法話

毎月15日は法話の日。日常に仏教を…内容は毎回変わります。

●11月15日(土)午前10時より

### ■写経講座

毎月20日は写経の日。写経の意味・書き方など僧侶がお教えいたします。般若心経またはいろは歌が書かれた写経用紙を筆ペンでなぞります。筆ペンはこちらでご用意いたします。

●11月20日(木)午前10時より

### ◆いろは写経

やすらぎ庵オリジナルの写経。いろは歌の写経です。漢字とひらがなの2種類あります。毎日いつでも行えます。

### ◆ワークショップ水引細工

いろんな色の水引を使って、可愛い梅の形の指輪を作ってみませんか。

●11月3日(月・祝)午後2時～5時  
【参加費無料】定員20名

【参加無料】定員15名 各行事は予約優先となります  
※混雑時にはお待ち頂くことが御座います。※日程、内容等は変更になる場合があります。

イオンモール3Fレクチャースペースで行う催事  
予約不要・参加無料 14時から行います

2日、3日、10日、15日、16日、17日、20日、22日、24日、30日

法話・絵本読み聞かせなどを行います。詳細はお問い合わせください。

八事山興正寺 港別院  
やすらぎ庵

〒455-0858 愛知県名古屋市港区西茶屋2丁目11  
イオンモール名古屋茶屋店 1F  
営業時間 9時～19時

TEL052-364-6271  
お問い合わせ FAX052-364-6281  
Eメール yasuragian@koushoji.or.jp



織田杏斎

御洒落会  
(右から二人目が織田杏斎)

## 展示のご案内

## 阿部俊一郎の世界

独学で描き続けた渾身の作品を一堂に公開。

会期: 平成26年11月17日(月)~20日(木)

時間: 11/17(月)は13時~16時

18(火)・19(水)は10時~16時

20(木)は10時~13時

場所: 大書院 拝観無料 \*竹翠亭の拝観希望の方は拝観料500円(呈茶付)

## 護色秋花小禽図

文鳥などの小鳥が、寒牡丹、キク、オミナエシ、ユウゼンギクなどの華やかな晩秋の草花の周りを飛び回っています。よく見ると右下には、キリギリスがおり、小鳥達が我先にと向う様子が描かれるなど、実に写実的でキクの花びらの繊維や小鳥の羽の一本一本まで丁寧に描かれ、見る者を引き込みます。この作品は、明治時代の中京画壇を代表する日本画家織田杏斎が五十歳の時に描いたものです。

織田杏斎は、日本画家である父織田共樵に画を学ぶも、西洋画への憧れから写真店を開業しました。しかし、眞の美術の妙味は東洋画にあると悟り、明治十二年（一八七九）に再び日本画の世界へ戻ります。その後は、張晋斎の教えをうけて研鑽し、明・清の遺跡を訪ね、各流派を折衷して遂に南北合流の一派をなしました。さらに、尾張藩の絵師であつた吉川弘道らとともに七宝焼の絵模様の改良に協力し、美術工芸の発展に貢献しました。



キリギリス

寺  
宝  
通  
心

## 寺宝公開② 杏斎・杏逸・旦斎

杏斎の言葉に「自分は、四十五、六歳までは、ただ細筆で糊口をつないできたが、ようやく太筆のみによることができた」というものがあります。（細筆は職業画家を、太筆は一人の画家として認められたことを指す）

また、杏斎は、同時代に名古屋で活躍した伊勢門水や井上菊次郎らとともに「御洒落会」という俱乐部を作り楽しんだ風流人で、仲間とともに興正寺大日堂広場に「カンチン茶屋」を建立しました。後に大日堂広場西側に杏斎の筆塔も建立されています。

今回紹介した「護色秋花小禽図」は、十一月初旬まで普門園大書院にて公開をされています。また、同大書院にて杏斎の甥にあたる織田旦斎の作品も公開しておりますので、併せてご覧ください。

(山本)



# 竹翠亭襖絵保存・制作事業

## 八事の全景



八事の全景(部分)

その昔、興正寺の周囲は木々の生い茂る山でした。名古屋城下まで二里(約7・8km)という距離にあり、門前を通る飯田街道が峠にさしかかるあたりで、八事村という小さな集落があるのみでした。

開山天瑞圓照和尚が尾張徳川家二代藩主・光友公の知遇を得て寺院建立を許された背景には、人々が仏の力により幸いであることを願うとともに、尾張藩の安泰を祈念する光友公の強い想いがあつたと考えられます。

それは、光友公の意向により、広い境内の普請(注1)を藩が行つたことにも表れており、元禄元年(一六八八)から翌年の三月までは東山諸堂が建立され、同四年(一六九一)には表門と裏門、惣堀土手が、同十年(一六九七)には総本尊の大日如来が建立されました。そしてそれは、同十三年(一七〇〇)光友公の没後も、天瑞和尚の在世中変わらぬ処遇がなされました。

こうして整えられた草創期の興正寺ですが、境内でも最も高い場所にある呑海峰(注2)からは、南に向かえば海に浮かぶ船の帆が、西に向かえば名古屋城が見えたと言います。

現在制作中の竹翠亭襖絵にも、この時期の「八事の全景」が描かれます。

松が多かつたとされる山の様子や遠くゆらめく船の帆、金崎きらめく名古屋城を眺めながら、ひととき江戸時代に遡り、当時の人々と同じ景色を眺めてみるのも楽しいのではないでしょうか。

(川村)

(注1)建物を建てたり修理する建築工事や橋や道路などをつくる土木工のこと。

(注2)大日堂の建つ山。伊勢や愛知灘、知多湾、星崎の浦、鳴海灘など尾張の景勝地が一目で見渡せることからこの名が付けられた。

# 興正寺竹翠亭 襖絵保存・制作事業への御志納お願い

興正寺では、平成大仏建立、総門や新たな堂宇の建設などの事業を進めております。このたびの竹翠亭の襖絵保存修復および制作事業はその一環で、現在ある襖絵を修復するとともに、新たに「開山天瑞圓照和尚一代記」を描いた襖絵を制作いたします。

竹翠亭は皆様方の憩いの場、文化と触れ合える空間です。

この事業を行うことで、新たな文化財を創出し、後世に伝えるとともに、地域文化の活性化と伝統技術の継承に寄与したいと願っております。つきましては、趣旨に御賛同いただき、ぜひとも保存修復および新たな襖絵制作に御寄進と御厚情を賜りますよう、お願い申し上げます。

合掌

## 竹翠亭襖絵保存・制作事業御志納

御志納 一口 千円より

大口御志納 一口 十万円より

## 襖絵保存・制作事業 志納者ご芳名

木村静子 中山裕章 武川藤英 古田裕貴 田村宗丈  
深見公子 關岡久子 千々岩清心 前川宏子  
鈴井巖 中島栄

自 平成二十六年九月十一日  
至 平成二十六年十月十日

御志納を賜り、心より感謝申し上げます。

お問い合わせ先

八事山興正寺 襖絵保存・制作担当

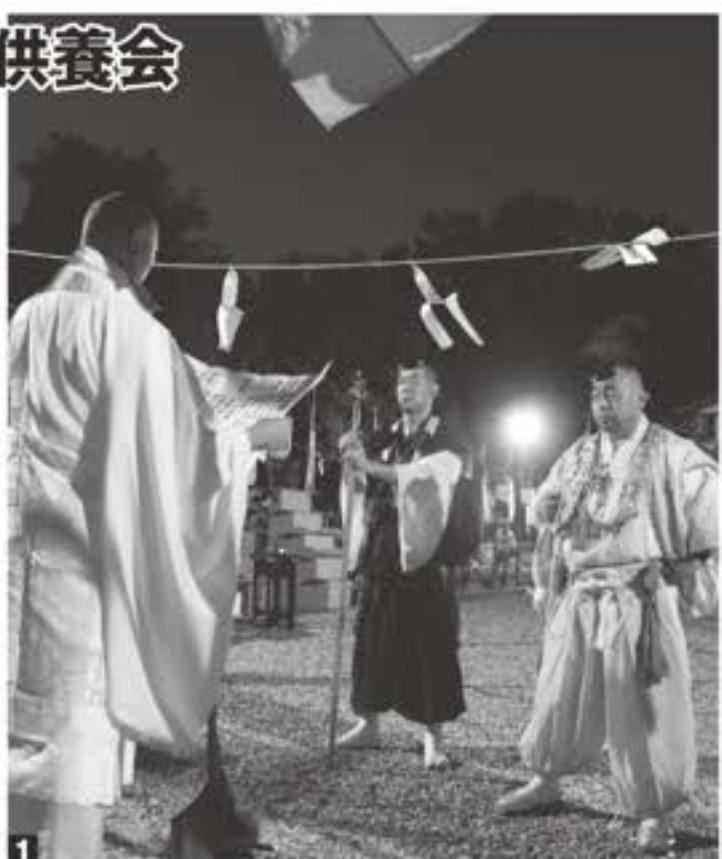
寺務課 川村

TEL ○五二一八三二一一八〇一

# 八 事 山

## ◇なごやの火祭り 千燈供養会

なごやの火祭り「千燈供養会」が10月17日(金)～19日(日)の三日間にわたり大日堂で厳修されました。千燈供養会は1891年の濃尾地震犠牲者の鎮魂供養のために始まったとされており、有縁無縁のみたまに香花燈明を供え供養を行います。あわせて総本尊大日如来の宝前で、加持祈祷の柴燈大護摩供を厳修する當山最大行事で、毎年10月の第三週に執り行われます。

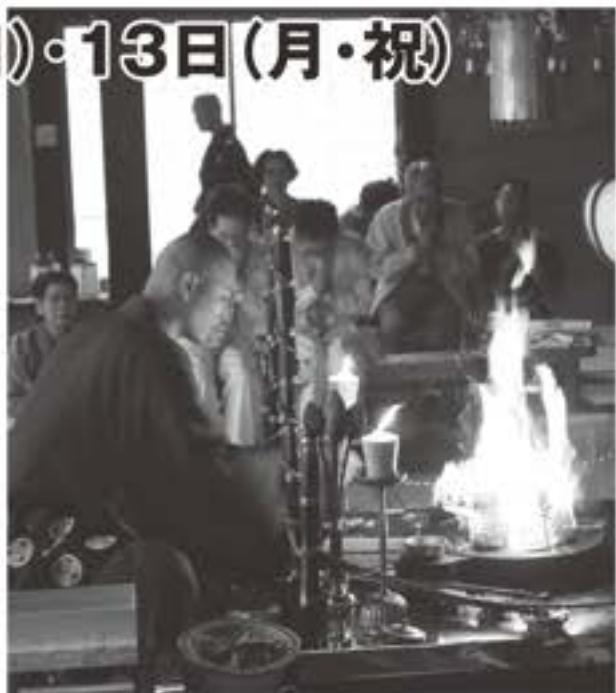


- 1 迫力ある山伏問答。修法に参加する力があるか否かを問答で戦わせる
- 2 祀迦牟尼大仏の前でのおつとめ
- 3 知多半島こころ会による和太鼓奉納で道場を荘厳する
- 4 3メートル以上にものぼる柴燈大護摩供の炎を山伏が見守る
- 5 法螺貝・錫杖の音で魔を祓い、稚児の健やかなる成長を祈願
- 6 興正寺信徒有志・行者講による道場のお淨め
- 7 願い事を書いた護摩木を、自らの手で護摩壇へ投げ入れる
- 8 五重塔を眺めながら、お茶とお菓子を楽しむ参拝者

## ◇観音堂秘仏ご開帳 10月5日(日)・13日(月・祝)

尾張徳川家二代目藩主 光友公の念持仏として伝わる正觀世音菩薩が、興正寺の縁日である10月5日(日)と13日(月・祝)にご開帳されました。

参拝の方々は年に一度の秘仏開帳に、観音さまとのご縁を結ばれました。観音堂のご開帳は毎年10月5日と13日に行われます。



## ◇一泊行者修行合宿 9月29日(月)～30日(火)

一泊修行体験合宿の経験者向けに、「祈りの体験修行」として一泊行者修行合宿が行われました。行者修行の体験を通して仏教への信心を確立し、「個人の祈りの力を見つける」ことを目標として、参加者は護摩行や水垢離などに取り組みました。



## ◇終活ノート 書き方セミナー 9月26日(金)・27日(土)

2日間にわたり、興正寺光明殿にて終活ノート書き方セミナーが開催されました。ファインシャルプランナー林直子氏を講師としてお招きし、人生の終わりをより良いものとするためのエンディングノートの書き方について講義を行っていただきました。また興正寺職員による永代供養墓についての説明も行われました。



歳時記

## ◇大日堂花壇種まき 10月8日(水)

10月の大日如来御縁日に、大日堂花壇の種まきが行われました。2面の花壇にバンジーの種をまいたあと、参拝者と一緒に共に美しい花が咲くよう願いました。これらの花々は、来年4月8日の大祭にて華曼荼羅となります。



# 一日修養会ダイジエスト

## 聖者の行進⑦ 座禅・曹洞宗の開祖「道元」

担当僧侶 桜田 英伸

永平寺を開いた道元禪師の父母は久我通親、藤原基房の娘という説が有力視されていますが、断定することはできません。なぜならば、道元が自らの著作の中で、父母のことを語ることがなかったからです。この点、前回の遊行聖、一遍上人が旅の折々に親類の墓を参り、弔つてきたことと対称的です。来世を願う、他者を弔う淨土現を生きる自分自身を鍛え上げる法門なのです。

母の死を契機として深い無常観に囚われた道元は九歳にして出家を志し、十三歳で比叡山へ登ります。十八歳のとき、当時最新の仏教であつた中国の禪宗を伝え帰国した栄西の開いた建仁寺へ。栄西は道元が十五歳のときに七十五歳で示寂されていますので、おそらく二人が相見えたことはなかつたでしょうが、栄西の弟子、明全という良き師に恵まれて六年間、臨済禪の指導を受けます。そして師と共に中国へ。明全は旅の途中、客死を遂げてしまいますが、かわりにほかの良き師たちにも巡り会います。

まず一人目。名もなき老典座(料理当番の僧)。日本からの食材を求めて尋ね来た老僧の、悟境の深さに感じ入った道元は、この僧と話します。食事の支度があるから、と立ち去ろうとした偉大なる先輩に、道元は「そんな仕事はあなたほどの人がしなくとも、他の者がするでしょう。どうか一晩お泊りください」と引き留めようとするが、老僧は「典座こそ、私に与えられた尊い仕事である。誠心誠意、勤めねばならない」と帰ってしまいます。堂に籠もり修行に打ち込むことがだけが、禪ではなく、生活すべてにおいて心を碎き生きることが、禪だと教えられた瞬間でした。

二人目こそが天童如淨。中国曹洞宗のすぐれた師家です。当時、中国の仏教は日本のような密教と併修する禪ではなくて、座禅のみに打ち込む「純粹禪」でした。入宋当初は純粹禪だけで成り立つ大規模な寺院運営に圧倒された道元でしたが、中国での留学僧の扱いの理不尽さや高い地位にいるはずの僧侶の悟境への疑問に直面するにつれ、落胆してゆきます。そんな中の高潔な人格者・如淨との出会い。如淨は弟子たちを悟らしめるために、頻繁に警策で打ちました。「お前たちを悟りへ導くために打つのだから、どうか許してください」と述べる激しい慈悲心に、多くの弟子たちが涙して改心したそうです。厳しくも良き指導者・如淨は、最初から道元の素質を見抜きました。

「伝えるべき法と法が、今顔を合わせたのだ(面授の法、現成せり)」。まさにお互いが求めていた、師と弟子との出会い。以降、如淨は懇切丁寧に道元を指導します。



※道元(1200-1253)貴族の生まれでありながら、全てを捨てて禪の修行に生涯をささげる。生活そのものを禪の実践として徹底。その著作の一つ『典座教訓』は、料理の心得や道具の扱いなども、仏法にかなう修行の一環として説かれている。

そして、とある日。座禅に打ち込む道元は、如淨の「身心脱落」ということばを聞いて、文字通り、身も心も抜け落ちてすつくと立ち上がり、師の前に立つて焼香します。如淨の問いかけに、「身心脱落して来る」と答える道元。師は喜んで、「脱落身心」と悟りを認めました。

中国より「我が悟り」の他は何も持たず空手にて帰つて来た道元は、京都の伏見に興聖寺、さらには越後に永平寺を建立し、質素に高潔に、自らの座禅を追求し、弟子たちに教えを弘めました。五十四歳で病没するまで、生涯をかけて書き続けた『正法眼藏』八十七巻は、道元の得た真実、正しい仏法を、一人でも多くの人に伝えるために和語で綴られた大著です。その深い思想性は現代哲学の立場からも研究されています。

## 一日修養会

【法話・聖者の行進  
(日蓮宗の開祖「日蓮」)・写経】  
11月15日(土)10時~14時頃

今回は「聖者の行進」と銘打って、各宗派を開かれた祖師や高僧のお話。境内の庭園を眺めながらお料理もお楽しみいただけます。

支 具 料:2,000円(昼食付)  
(社の響会員1,000円)  
定 員:60名(要予約) 申込締め切り:11月13日(木)  
お問合せ・お申込みは、光明殿1F 事務局まで  
■0120-8510-78

## 変わらず在り続けること

目出度く結婚という良き日を迎える運びとなった新郎新婦。結婚式とは、これまで新郎新婦がお世話になった方や一番近くで温かく見守ってくれた親族へ向けて、喜びの報告と感謝の気持ちを伝える大切な日でありおふたりの新たな生活のはじまりの一日でもあります。

そんなはじまりの一日前は、この先もずっと、おふたりやご家族にとって大切な場所になるのではないかでしょうか。

### ~建立320余年を超える八事山興正寺~

これまでそしてこれからも変わらずこの場所に在り続けるからこそ共に歩んでいくおふたりの人生の中でおふたりが迎えるであろう、様々な節目の度に何度も足を運べるというのは、とても素敵のことだと思います。

実際に、普門園で挙式を挙げられたおふたりが赤ちゃんを授かった時に、安産祈願へ足を運ばれることもあります。

おふたりの新たなはじまりの一日前を祝った八事山興正寺 普門園はこの先もおふたりと、そのご家族のことをいつまでも温かく迎えてくれるそんな場所でもあるのです。

## はじめのいっぽ



日頃から、八事山の整備事業にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

興正寺最大行事の千燈供養会も終わり、八事のお山は彩り豊かな季節を迎えております。同時に、境内やお堂を彩る木々や草花は、冬に向けて着々と歩みを進めている感がいたします。けれども、そこには一年の終わりの冬へ向かっているのではなく、次に来る新たな年のため！という力強さが感じられます。

今日はいつもとちょっと違う写真を載せましょう。今年、晚夏から深秋に向けて、何回かあった大雨や台風のあと、必ず参拝者に驚かれていたのが、八事の森の「キノコたち」です。残念ながら、キノコ類はあつという間に大きくなってしまって、あつという間にしほんでしまうので△キノコがびっしり…



八事のお山の  
昨日  
今日  
あした：

なかなかシャッターチャンスに恵まれません。真っ白で直径が20センチを超えていたのでは？というようなキノコがあちこちに出ていたときはびっくり致しました。

また、どう見ても、どうしても「しめじ」にしか見えないキノコを見つけたときは「収穫」してみたい欲求にかられてしまうがなかったです。

あと、「サルノコシカケ」の類いが多いのも興正寺の森です。ツツジの小さな株が枯死してしまったので、掘り返したら小さなサルノコシカケが育っていた、という例もあります。

記念植樹の場所もだいぶ準備ができました。今回は永く残るよう金属プレートをつけて植えます。八事の森に記念の桜の一輪を、と思われましたら、ぜひお申し込みください。

最後に、ある秋の日、きれいに咲いていた白い花の写真です。なんの花だかおわかりになりますか？あ、キノコの名前もぜひ教えていただけます。



(井上) △この花なあに？

## 記念植樹のお知らせ

お子様の誕生と成長を願う「誕生記念」や人生の節目を祝う「祝祭記念」の植樹を限定でお受けいたします。

**奉納料 一万円 (ソメイヨシノ一本・プレート含む)**



△プレート  
見本



\*植樹時期、場所については當山より指定となります。詳細はお問い合わせください。担当:井上・菅家

# 竹翠通心

普門園のご案内

月釜のご案内

- 拝観時間 10時～16時
- 拝観料 500円(お抹茶付)

11月12日(水) 表千家 柴田紹和  
一席二服 1,500円

## 遊翠の心

- 日程 <写経> 11月4日(火) 11月10日(月) 11月26日(水) 12月8日(月) 12月9日(火) 12月10日(水)  
<阿息觀> 11月25日(火) 12月22日(月) <茶の湯> 11月17日(月)  
<きもの装い講座> 11月19日(水) 12月3日(水)
- お手持ちのきものを楽しく装うための教室です
- 時間 午前10時～午後2時～各2時間
- 定員 各回10名(要予約)
- 料金 1,000円(お抹茶付)  
きもの装い講座のみ2,000円
- 各教室についての詳細、ご予約は  
竹翠亭までお問い合わせください

### 興正寺マルシェ特別企画

#### 着物と一緒に楽しめよう

初めての方でも普段着から礼装まで楽に美しく着られる  
ようになる「きもの装い講座」を無料体験できます。  
洋服の上から帯結びと一緒にしてみましょう!

無料  
体験

毎月21日 興正寺大書院にて 10時～/11時～/13時～(各回30分)

### 今月のご紹介

#### 茶碗 志野焼 銘「俵」 加藤春岱(1802-1877)作

享和2年尾張、赤津の窯屋に生まれ15歳で父春山の跡をつぎ、  
尾張名古屋藩の御用窯である御深井焼にも参加。瀬戸焼の主流が  
磁器になりはじめた天保年代以降も伝統の陶器を焼き、赤絵や織  
部・志野の技法もくわえ、幕末の名工のひとりとされた。



#### 「後の十三夜」和の調べ 名月の夜に愉しむ箏と尺八の音色

11月5日(水)

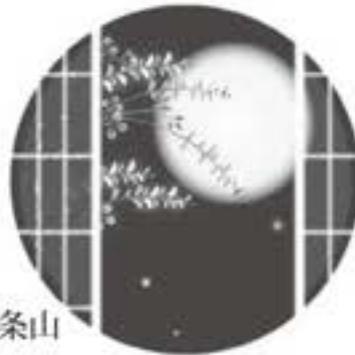
17時開場 18時開演

2,500円(呈茶付)

40名様(要予約)

箏 生田流 宮城派 早川恵子

尺八・笛 都山流 竹琳派 加藤条山



#### 子ども寺子屋くらぶ

秋澄むころに「親子でお茶会」  
お抹茶を点ててみよう、飲んでみよう

11月8日(土)

10時～

10組(要予約)

親子一組1,500円

(お子様おひとり追加ごとに500円)



#### 喫茶 八琴庵

来店の際にはぜひ  
ご利用ください♪



紅葉の候、日頃は格別のお引き立てをいただき、  
ありがとうございます。

あっという間に秋から冬に移り変わってまいりますね…  
皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて今月は、

喫茶は、「モーニング」「ランチ」「スイーツ」のほかにも  
お土産品があるのをご存じですか。

八琴庵店内では“あめ”“あられ”“お漬物”的3種類を  
ご用意させていただいております。

また、お漬物に関しては「岩手県花巻市」より  
直接納品させて頂いているもので大変好評頂いております。  
ぜひご賞味ください。

営業時間は午前7時から午後5時です。(オーダーストップ午後4時30分)

**平成大改修 志納ご芳名**

(金、武拾五万円) 濱田匡人 濱田朋昌  
 (金、壱拾万円) 堀田美智代  
 (金、壱万円) 中村すみ  
 (金、壱千円) 中島幸弘

**献 瓦 志納ご芳名**

(金、武千円) 田尻良男  
 (金、壱千円) 關岡久子 平野耕志 平野好子

平野八重子 大野勝年 みんなかよし  
 蒲絹枝 中村千代子 前田芳子 岩佐さき枝 畑中伸一 蟹江良子

蟹江武 蟹江光恵 蟹江鈴水野恭男 杉浦勇 柿本スエ子 近藤昭子 水元清一 佐藤久明 徐叶紅 大野直道

春日井保 岩佐一志 浩美 橋本恒子 坂田八千代 金子和義 内山宏幸

**大隨求明王 志納ご芳名**

(金、参万円) 堀田立江

(願不同 敬称略)

自 平成二十六年九月十一日  
至 平成二十六年十月十日

ありがとうございました。  
心より感謝申し上げます。合掌

八事山興正寺

**終活ノート「マイ・ウェイ」書き方セミナー**  
**11月25日(火)・12月5日(金)**  
 午前の部 10時～12時 30分  
 午後の部 14時～16時 30分  
**参加費 一般 1,000円 杜の響会員 500円**  
※マイ・ウェイ持参の方は無料となります。  
 ※12月5日前の部は終活個別相談会(要予約・費用別途  
 1,000円)となります。

**終活ノート「マイ・ウェイ」書き方セミナー**  
**講師／林 直子氏**  
**お申込・問合せ 0120-8510178**

## 各講座案内 ~どなたでも参加出来ます~



### ○学ぶ

**《仏教絵解説講座》** 講師 樹田英伸 普照殿 華宮  
11月18日 午前10時より

「七七日・四十九日餅」「百箇日・初盆」※プロジェクター使用

**《仏教入門講座》** 講師 森田泰澄 普照殿 華宮  
11月27日 午後2時より

難しい仏教用語をなるべく使わずに、お経を中心勉強します。  
脱線話が多いので気楽に参加できます。

### ○仏讃歌

**《ご詠歌上級者》** 講師 鈴村隆弘 光明殿 会食室  
11月14日・20日 午後1時半より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

**《ご詠歌初級者》** 講師 鈴村智弘 光明殿 会食室  
11月2日・21日・30日 午後2時より ※21日は本堂出仕

金剛流御詠歌の初心者向け講座です。

### ○体験する

**《阿息觀》** 講師 杉浦宣秀 普照殿  
11月10日・20日・30日 午後2時より

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

### 《写経・写仏》

11月21日 午前11時半より 光明殿 会食室

法話を文えながら、写経・写仏を実習します。

※日程・会場は変更する場合がございます。  
事前にお電話でご確認ください。

### ○七日経中陰経とは

七日経、中陰経は、仏教と中国古来の信仰が合われたと考えから来ているそうで、亡くなつた方は冥土への道中に七日ごとに閑所を通過せねばならず、そこにはそれぞれ閑所担当の仏さまと面接があるとされています。

### ○いわれ

七日経、中陰経は、仏教と中国古来の信仰が合われたと考えから来ているそうで、亡くなつた方は冥土への道中に七日ごとに閑所を通過せねばならず、そこにはそれぞれ閑所担当の仏さまと面接があるとされています。

そのため、この閑所を無事通過できるようにという意味も込めて、中陰棚の前でお勤めをします。

### ○五七日は特別

五七日は大事な法要となります。この日にご縁をむすぶ仏さまは地蔵菩薩です。五七日では地蔵菩薩の他に地獄の裁判官と呼ばれている閻魔大王ともご縁を結びます。閻魔大王は、亡者の生前の善惡を映し出す鏡水晶製の鏡「淨玻璃鏡」を使い故人が生前犯した、ありとあらゆる、すべての罪を暴きます。ここで次に生まれ変わる世界が決定します。しかし、守護してくれる地蔵菩薩の助けと遺族の追善の供養の功德で七日間の猶予を与えてくれます。そのため五七日は大事な法要となります。

四十九日までにご縁をむすぶ仏さま

初七日 不動明王 五七日 地蔵菩薩  
 二七日 釈迦如來 六七日 弥勒菩薩  
 三七日 文殊菩薩 七七日(四十九日) 薬師如來  
 四七日 普賢菩薩

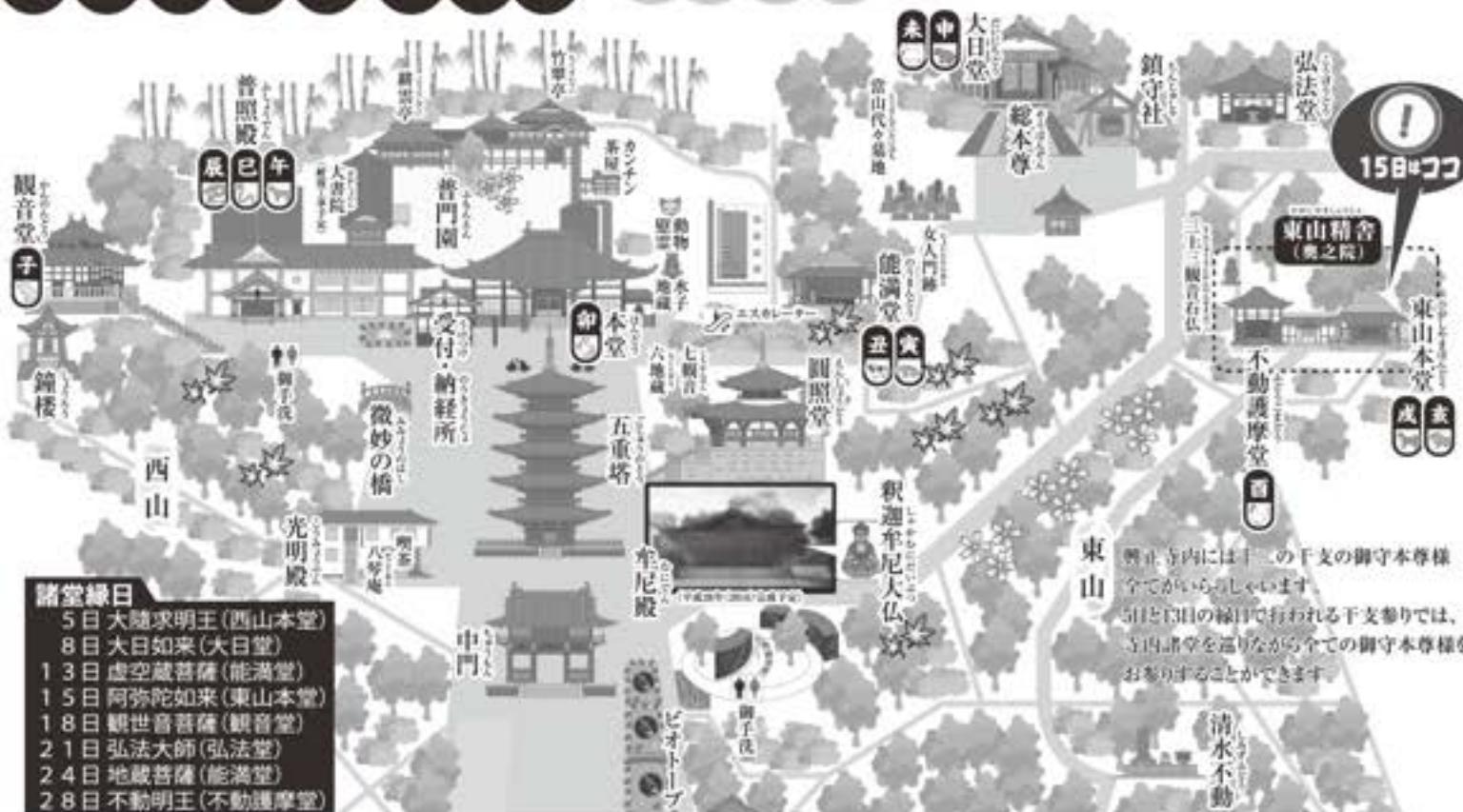
### お坊さんが教えるご葬儀コラム⑪

西山海良

### 七日経中陰経

# 縁日さんぽ 其の八

毎月15日 東山奥之院 阿弥陀如来



諸堂縁日  
5日 大隨求明王(西山本堂)  
8日 大日如来(大日堂)  
13日 虚空藏菩薩(能満堂)  
15日 阿彌陀如来(東山本堂)  
18日 觀世音菩薩(觀音堂)  
21日 弘法大師(弘法堂)  
24日 地藏菩薩(能満堂)  
28日 不動明王(不動護摩堂)

十一月は大祭縁日  
奥之院御縁日では阿彌陀経などおつとめをした後、皆さんで「善の綱おり」を行います。善の綱とは、善処につなぐ綱の意味で、仏さまから続いている五色の綱に触れることにより、直接触れたのと同じことになり、仏さまとより深いご縁を結んでいたたくことになります。

今月は大祭縁日を迎えます。参拝者の皆さまの身体健全・諸願成就を五鉢杵でお加持させていただきます。大祭名物の焼き芋お接待もありますので、ぜひお参りに来てくださいね。

●メープルバナナ蒸しケーキ ●まるごとりんごの葛ゼリー ●ホットキャラメルジンジャーティー

要予約:〇五二一八三二一八〇一 (申し込み〆切:毎月十九日)  
定員:二十名 参加費:五百円 持ち物:エプロン・筆記用具

お坊さんに縁日の由来や仏さまのことをお聞きする「縁日さんぽ」。

今月は毎月十五日、奥之院御縁日。  
教えてくれたのは、渡邊正大僧侶です。

現世を光で照らす仏さま

東山奥之院のご本尊は阿彌陀如来さまです。サンスクリット語でアミターバ、「無限の光をもつもの」というお名前の仏さままで、この世をその光であまねく照らしますという意味で「無量光仏」と呼ばれることもあります。また、この世の西側にあるといふ清つかな仏さまの世界、「西方浄土」のあるじもあります。極楽浄土と言ったほうが馴染みがあるかもしれませんね。興正寺でも、奥之院のご朱印は「西方佛」と記されます。



静けさの中にたたずむ、東山奥之院。

興正寺の歴史を語るお堂

興正寺にお参りにはきても、奥之院までは足を運んだことがない、という方が多いのではないでしょうか。奥之院はこの八事山で最も古くからあるお堂の一つです。阿彌陀如来さまの右側は興正寺歴代住職の、そして左側には尾張徳川家歴代藩主の位牌がおさめられているんですよ!すごいですね。お参りするごとに、刻まれた三百余年の時間を感じに、ぜひ御縁日に足を運んでみてくださいね。

渡邊僧侶、ありがとうございました!



昨年の大祭の様子。お一人ずつ、五鉢杵でお加持をします。



おつとめの後、ひとときの団欒。

これで諸堂のご縁日がすべて登場いたしました。  
来月は最終回、毎月五日、十三日に行われている  
「諸堂干支参り」をご紹介します。お楽しみに!

## 第1回 興正寺 古本供養市

～古本供養と、青空古本市～

2014年10月31日(金)～11月3日(祝)

午前10時～午後4時(雨天時中止)

※最終日は午後3時閉場

会場 興正寺 参道



**古本供養 供養料 500円**

◎11月3日 午後2時30分より

思い出の本、大切な本を供養して必要な方に受け継ぎませんか?ご希望の方は期間中五重塔前にお持ちください。

お問い合わせ  
NPO法人  
ハートフルプロジェクト  
052-882-0588

「隨求の悲願は、求める子を得せしめ、安産をもたらす」

## 大隨求明王の安産祈願

### 特別護摩祈禱嚴修

戌の日 安産合同祈禱会(11月・12月)

11月11日(火)・23日(日)

12月 5日(金)・17日(水)・29日(月)

14時より

西山本堂にて

祈禱料

5,000円

10,000円(安産木札授与)

大隨求陀羅尼



腰帶加持の様子

古来より興正寺は安産の名刹として信仰されております。

現代、興正寺においても子宝・安産法薬として「大隨求陀羅尼」の御守をお持ちいただき、安産祈願を勧めております。

※腰帶にお名前をお書きしますので、事前のご予約

(電話・来寺)をお願いいたします TEL.052-832-2801

### 一泊修行体験合宿

俗世間をしばし離れ、お寺の日常を体験してみませんか?  
厳しい作務の中に新しい自分を見つけるかもしれません。

おくのいん たいさい

## 奥之院 大祭

11月15日(土) 午後1時より

### 善之綱おくり祈祷



東山奥之院本尊の阿弥陀如來  
ごこじよ  
と密教法具の五鉢杵を善之綱  
(結界のひも)で結び、お一人さ  
まずつ五鉢杵に触れていただき  
ながらお加持致します。※通常  
の善之綱おくりも行います。

八事山興正寺がいざな  
う年越しは、毎年恒例の  
「第九」から始まります。  
五重塔横の大階段で熱  
演される合唱コンサー  
ト。コンサート後には  
「除夜の鐘」をつき、新た  
な年を迎えましょう。

## 第九コンサート・除夜の鐘

第九コンサート 22時30分

(五重塔横大階段)

除夜の鐘

23時45分

(100円護摩木付き／先着順)

\*日程 11月11日(火)～12日(水)

\*定員 各20名 \*支具料 5,000円

\*お問い合わせ 052-832-2801

三千仏の名号を唱え、一年間の罪を懺悔する

さん ぜん ぶつ ぶつ みょう え

## 三千仏佛名会

12月1日(月)～5日(金) 本堂にて

過去・現在・未来の三千仏の名号  
を唱え、礼拝する修行です。

當山においては8月の布薩会と並  
ぶ、最古の法会となります。

どなたでもご参加できます。

(5日結願日はご参加できません)



## 11月の行事カレンダー

普門圓休圓日 行事・挙式により終日拝観できません  
11/1(土)、2(日)、9(日)、15(土)、16(日)、22(土)、  
23(日)、29(土)、30(日)

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
大安 赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	○古本供養市 10:00-16:00 参道 ○七五三身体健全祈禱会 10:30/11:30/13:00/ 14:00/15:00 能満堂(要予約) △ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘
2 赤口	3 文化の日	4 友引	5 先負	6 仏滅	7 立冬	8 赤口 戌の日
○古本供養市 10:00-16:00 参道 ○七五三身体健全祈禱会 10:30/11:30/13:00/ 14:00/15:00 能満堂(要予約) △ご詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	○古本供養市 10:00-15:00 参道 14:30 古本供養会	▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良	○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 諸堂干支参り ☆竹翠亭コンサート 「後の十三夜」 18:00 開演 要予約 参加費2,500円(呈茶付)		大安	○大日如来 緑日 12:30 大日堂 理趣分經祈禱 ○七五三身体健全祈禱会 10:30/11:30/13:00/ 14:00/15:00 能満堂(要予約) ☆子ども寺子屋くらぶ 「親子でお茶会」 10:00 要予約 参加費 親子で1,500円
9 先勝	10 友引	11 先負 戌の日	12 仏滅	13 大安	14 赤口	15 先勝
○七五三身体健全祈禱会 11:30/13:00/15:00 能満堂(要予約) ○合格祈願会 14:00 能満堂	▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 小松永明 △阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	○安産合同祈禱会 14:00 本堂		○虛空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 普照殿 10:00 諸堂干支参り	△ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村隆弘	○東山 奥之院大祭 13:00 奥の院 善之綱おくり ○七五三身体健全祈禱会 10:30/11:30/13:00/ 14:00/15:00 能満堂(要予約) △一日修養会 10:00 普照殿 要予約
16 友引	17 先負	18 仏滅	19 大安	20 赤口	21 興正寺マルシェ	22 小雪
○七五三身体健全祈禱会 10:30/11:30/13:00/ 14:00/15:00 能満堂(要予約)	▽遊翠の心 茶の湯 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円	○觀世音菩薩 緑日 13:00 観音堂 護摩祈禱 法話 △仏教繪解き講座 10:00 普照殿 樹田 英伸	▽遊翠の心 着物装い 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料2,000円	△ご詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村隆弘 △阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	○弘法大師 緑日 読経 法話 10:30 弘法堂 ○月並御影供 14:00 本堂 △写經写仏講座 11:30 光明殿 △ご詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村智弘	
23 勤労感謝の日	24 振替休日	25	26	27	28	29
大安 戌の日	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安
○安産合同祈禱会 14:00 本堂 ○合格祈願会 14:00 能満堂	○地蔵菩薩 緑日 13:00 能満堂 大数珠おくり・法話 紙芝居	▽遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良	▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料1,000円 西山海良	△仏教入門講座 14:00 普照殿 森田泰澄	○不動明王 緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱・法話	☆紅葉まつり
30 赤口	→		ポックリさん ~大隨求明王展~	平成26年11月5日(水)~平成27年1月13日(火)	会場:西山本堂(大隨求明王前)	時間:午前9時~午後4時
☆紅葉まつり			内容:毎月5日の緑日には多くの参拝者で賑わう興正寺。 「ポックリさん」と親しまれる大隨求明王について、 関係する品とともにご紹介します。			

- 興正寺は自然環境に配慮し、地球環境保全に貢献しています -